



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ソルクシーズ
コード番号 4284 URL <http://www.solxyz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 章
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 金成 宏季

TEL 03-6722-5011

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	9,659	17.6	390	△6.3	356	△16.5	161	14.0
27年12月期第3四半期	8,216	7.0	416	5.9	426	0.1	141	△36.7

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 44百万円 (△72.9%) 27年12月期第3四半期 164百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	13.37	13.28
27年12月期第3四半期	12.73	12.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	9,057	4,030	43.5	327.61
27年12月期	8,976	4,041	44.0	328.02

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 3,944百万円 27年12月期 3,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	8.7	630	6.2	630	3.8	365	21.7	30.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	13,410,297 株	27年12月期	13,410,297 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	1,371,568 株	27年12月期	1,371,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	12,038,799 株	27年12月期3Q	11,091,435 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、アジア新興国や資源国等の海外経済の減速による下振れリスクはあるものの、基本的に緩やかな回復基調が続き、国内IT投資については、金融業界を中心に堅調に推移しました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、ビジネスパートナーの開拓等により開発リソースの確保・拡大に努め、優良案件の受注拡大を図った結果、前年同四半期比17.6%増の9,659百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、本体において証券・クレジット・サービサー等の金融業向けSI/受託開発業務が増収となった外、グループ会社においても投信・投資顧問業向けSI/受託開発業務等が増収となり、同19.9%増の9,448百万円となりました。デジタルサイネージ事業の外部顧客への売上高は同37.5%減の210百万円となりました。

損益面では、本体及びグループ会社における金融業界向けソフトウェア開発事業等の好調により、売上総利益は同5.5%増の1,758百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費が要員確保のための採用費増、グループ会社の業容拡大に合わせた内部管理体制強化のコスト増等により、同9.5%増の1,368百万円と増加した結果、営業利益は同6.3%減の390百万円となりました。更に、営業外費用として年初からの円高進行によるデリバティブ評価損28百万円等を計上したため、経常利益は同16.5%減の356百万円となりました。法人税等調整額が税制改正により一時的に増加した前年同四半期に比べ大きく減少した結果、法人税等調整額を含む法人税等194百万円を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同14.0%増の161百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円増加いたしました。これは主に短期資金を運用していたマネー・マネジメント・ファンド等の償還により有価証券が減少した一方で、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は3,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少いたしました。これは主に株式の売却及び時価の下落により投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に外注費等の増加に伴い支払手形及び買掛金が増加したことと、賞与引当金が増加したことによるものであります。固定負債は2,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に借入金の返済を進めたことにより長期借入金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、剰余金の配当により利益剰余金が減少し、また、時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.5%（前連結会計年度末は44.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上する方法に変更しております。また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724,144	2,549,360
受取手形及び売掛金	1,955,485	2,372,567
有価証券	1,002,956	—
商品及び製品	27,714	50,042
仕掛品	265,848	221,039
原材料及び貯蔵品	3,555	3,072
その他	120,420	121,449
貸倒引当金	△254	△228
流動資産合計	5,099,870	5,317,303
固定資産		
有形固定資産	544,546	557,452
無形固定資産		
のれん	220,000	198,000
その他	772,049	887,607
無形固定資産合計	992,049	1,085,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,630,836	1,368,408
繰延税金資産	455,778	473,026
その他	253,630	255,254
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	2,340,243	2,096,690
固定資産合計	3,876,839	3,739,750
資産合計	8,976,710	9,057,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,060	658,158
短期借入金	765,000	823,500
1年内返済予定の長期借入金	599,900	550,202
未払法人税等	119,881	92,820
賞与引当金	—	247,198
その他	652,278	447,774
流動負債合計	2,684,120	2,819,654
固定負債		
長期借入金	576,626	467,980
退職給付に係る負債	1,476,772	1,527,631
役員退職慰労引当金	172,120	188,691
その他	25,582	22,501
固定負債合計	2,251,101	2,206,804
負債合計	4,935,221	5,026,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,699,500	1,699,803
利益剰余金	1,089,107	1,189,927
自己株式	△511,284	△511,352
株主資本合計	3,771,823	3,872,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,159	126,436
為替換算調整勘定	1,428	△21,681
退職給付に係る調整累計額	△42,400	△33,628
その他の包括利益累計額合計	177,188	71,126
新株予約権	6,231	6,231
非支配株主持分	86,246	80,359
純資産合計	4,041,488	4,030,596
負債純資産合計	8,976,710	9,057,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	8,216,184	9,659,001
売上原価	6,549,863	7,900,809
売上総利益	1,666,320	1,758,191
販売費及び一般管理費		
役員報酬	261,029	288,682
給料	372,852	361,038
賞与	35,016	45,169
役員賞与引当金繰入額	7,200	—
賞与引当金繰入額	22,959	29,088
役員退職慰労引当金繰入額	15,645	16,571
退職給付費用	22,740	19,197
法定福利費	80,966	87,680
地代家賃	67,724	72,377
支払手数料	73,329	70,495
のれん償却額	354	22,000
その他	290,041	355,764
販売費及び一般管理費合計	1,249,860	1,368,067
営業利益	416,459	390,124
営業外収益		
受取利息	34,560	10,086
受取配当金	3,207	5,691
その他	18,532	10,205
営業外収益合計	56,300	25,983
営業外費用		
支払利息	13,857	12,963
デリバティブ評価損	26,176	28,037
投資事業組合運用損	2,002	7,903
為替差損	673	9,812
その他	3,172	1,026
営業外費用合計	45,882	59,744
経常利益	426,877	356,364
特別利益		
固定資産売却益	98	—
特別利益合計	98	—
特別損失		
固定資産除却損	6	316
投資有価証券評価損	29,057	—
特別損失合計	29,063	316
税金等調整前四半期純利益	397,913	356,048
法人税、住民税及び事業税	211,100	160,160
法人税等調整額	43,332	34,328
法人税等合計	254,433	194,489
四半期純利益	143,480	161,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,237	543
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,242	161,014

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	143,480	161,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,418	△91,723
為替換算調整勘定	△77	△34,123
退職給付に係る調整額	12,576	8,771
その他の包括利益合計	20,917	△117,074
四半期包括利益	164,398	44,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,163	54,953
非支配株主に係る四半期包括利益	2,234	△10,469

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,878,641	337,542	8,216,184	—	8,216,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,516	439	2,955	△2,955	—
計	7,881,158	337,981	8,219,139	△2,955	8,216,184
セグメント利益又は損失(△)	452,070	△38,566	413,504	2,955	416,459

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去2,955千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,448,179	210,822	9,659,001	—	9,659,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,434	—	3,434	△3,434	—
計	9,451,613	210,822	9,662,435	△3,434	9,659,001
セグメント利益又は損失(△)	398,474	△11,784	386,690	3,434	390,124

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去3,434千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。